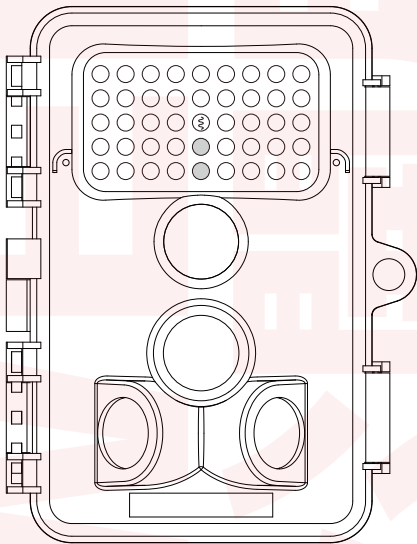


トレイル防犯カメラ

取扱説明書

型番:AUTMTSHNA



24.0

24Megapixel

IP66

Waterproof

2.4"

TFT-LCD

0.4S

Trigger time

120°

120°total PIR angle



2.7KFull HD

Video function

本製品をご購入頂き誠にありがとうございます。

優れた機能を持つ本カメラと簡単にお使い頂ける付属品を備えた本製品をご購入頂きありがとうございます。この取扱説明書に記載の内容をよくお読みください。特に安全に関する注意事項をご確認ください。

1. 内容物

ご利用前に内容物をご確認ください。

- 1.カメラ本体
- 2.取付ベルト
- 3.USBケーブル
- 4.取扱説明書
- 5.スクリュー x 3
- 6.三脚マウント



Note:

- レンズから保護フィルムを取り外します。
- 窒息の危険があるため、ビニールや袋は小さな子供の手の届かないところに保管ください。

血

匪

山

匪

山

山

2. 目次

1. 内容物	1
2. 目次	3
3. ご利用における注意事項	4
4. はじめに	6
5. カメラ	7
5.1. 正面図	7
5.2. 内部	8
6. カメラの準備	9
6.1. カメラの開閉	9
6.2. 電池を入れる	10
6.3. メモリーカードを入れる	11
6.4. 外部電源	12
6.5. ストラップの取り付け	12
6.6. 準備のフローチャート	13
7. カメラの使い方	14
7.1. モードスイッチ	14
7.2. 操作ボタン	14
7.3. 設定	16
7.4. カメラの調整	22
7.5. ライブモードの設定	23
7.6. 夜間撮影	24
7.7. ファイル形式	24
8. コンピュータとの接続	25
9. 技術仕様	26
10. 簡単なトラブルシューティング	28
11. システム情報、メンテナンス、廃棄	29
11.1. ケアについて	29
11.2. 保管について	29
11.3. 廃棄	29

3. ご利用における注意事項

本製品およびアクセサリは正しくお使い下さい。誤って利用すると商品の破損や思わぬケガをする場合がございます。

<使用目的>

・本製品は、写真や動画の撮影を目的としています。それ以外の目的で使うことはお控えください。

<子供や操作能力に制限がある方>

・カメラ本体、付属のアクセサリや包装されているビニール袋などを小さいお子様のそばに放置しないようご注意ください。

・子供や操作能力に制限のある人は、本製品を使用しないでください。カメラ等の操作は、安全に操作できる人が行ってください。

<電氣的危険>

・万が一カメラ本体内部に水が入った場合には直ちに電源をオフにし、バッテリーを外し十分乾燥させてからご利用下さい。

・正しい乾電池または付属の電源ケーブルをご利用下さい。異なるケーブルや電池を利用すると破損や火災の原因となります。

・落雷など悪天候の元で利用しないで下さい。本体破損の原因となります。

・雷雨時は電源が使用できない場合があります。感電の危険があります。

・カメラを落としたり、ハウジングが損傷した場合は、カメラの電源を切り、電池を取り外してください。火災や感電の危険があります。

・カメラの分解、改造や修理はしないでください。火災および感電の危険があります。

<熱や火災による損傷>

- 温度が著しく上昇する場所(車内など)にカメラを放置しないでください。本体や内部部品が破損し、火災の原因となることがあります。
- カメラを包んだり、布の上に置いたりしないでください。カメラ内に熱が蓄積し、ハウジングが変形したり、火災の危険の可能性があります。

<けがと破損>

- カメラは頑丈な場所に設置ください。カメラが倒れたり、倒れたりして、破損やけがの原因となります。
- 走行中や運転中にカメラを操作しないでください。転倒や交通事故の原因となります。
- カメラは、銘板に指定されている入力電圧(6V)の電源アダプター(付属していません)を使用してください。不適切な電源アダプターの使用による損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- 電源アダプター(付属していません)は、必要に応じて電源からすばやく切断できるようにしてください。
- 電源アダプター(付属していません)を使用の際は、十分な換気を確保し、過熱を避けるためにカバーなどで覆わないでください。
- 火のともったろうそくなどの発火源を、本体に近づけないでください。
- LCDモニターに衝撃や圧力を加えないでください。モニターのガラスが破損したり、内部から液体が漏れる可能性があります。目や皮膚に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、直ちに医師に連絡してください。
- 衝撃、落下などの外的要因による本体、モニター、レンズなどの損傷は、保証の対象外です。
- カメラは落としたりぶつけたりしないよう、慎重に取り扱ってください。カメラが損傷する恐れがあります。

4. はじめに

本製品は、3ゾーンの赤外線センサーを備えた、防犯、監視、野生動物観察など、様々な用途にお使い頂けるカメラです。内蔵のセンサーは、評価エリア内の温度変化を素早く検出します。高感度の赤外線センサー (PIR=パッシブ赤外線センサー) の信号により、カメラが起動し、写真やビデオ撮影を開始します。

本製品の特徴と機能:

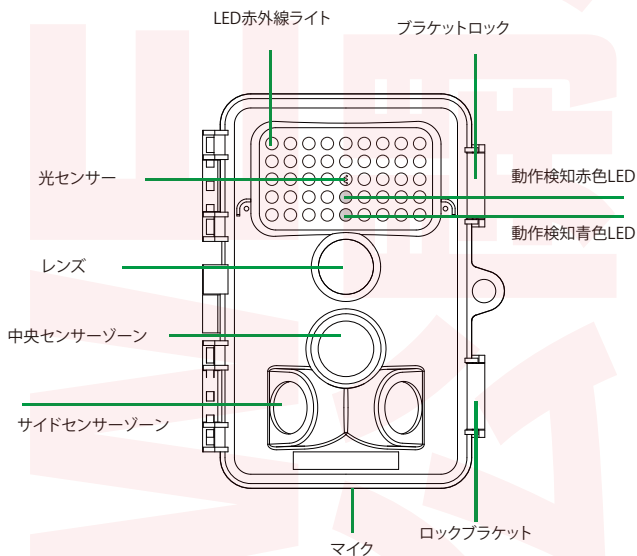
- ・24メガピクセルの写真と2.7KフルHDビデオ。
- ・独自のセンサー設計により、120°の広い検出角度と、早いカメラの応答時間を実現しています。
- ・日中はシャープで鮮やかなカラー画像を、夜間は鮮やかな白黒画像を、映し出します。
- ・驚速の、トリガー時間0.4秒、プリブート0.2秒、を誇ります。
- ・屋外設置が可能なIP66相当の防塵防水機能を搭載。
- ・ロック可能、及びパスワードによる保護機能。
- ・日付、時刻、温度、バッテリー残量や月齢などを画像に表示可能。
- ・カメラ名機能を使用して、場所を写真にエンコードできます。複数のカメラを使用している場合、この機能を使用することにより、写真を撮影した場所を特定できます。
- ・-20℃~60℃という、超低温~超高温までの広い温度範囲下で使用可能。
- ・超低消費電力化により、最大6ヶ月の長期間利用を実現(スタンバイモード、単3x8、使用の場合)。

ご利用分野の例

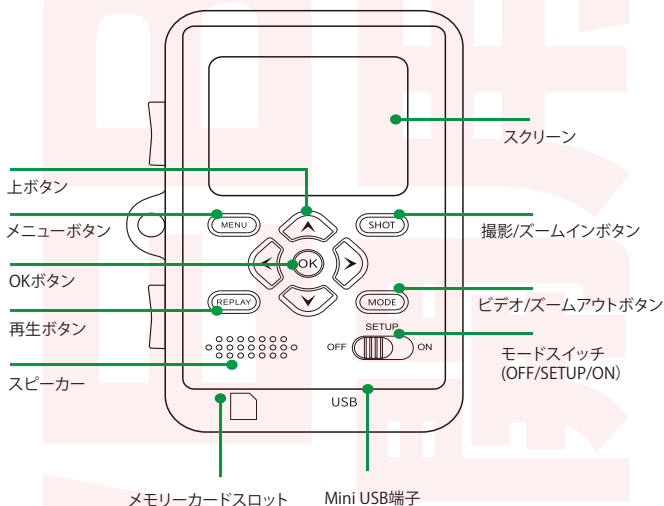
- ・家庭用、オフィス用、公共用などの動作検知セキュリティカメラとして
- ・野生動物などの自動撮影
- ・作業現場での様々な事象の観察や監視
- ・屋内や夜間の不審物や不審者による侵害の証拠撮り

5. カメラ

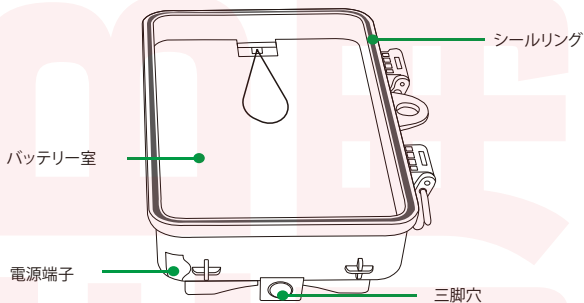
5.1. 正面図



5.2. 内部



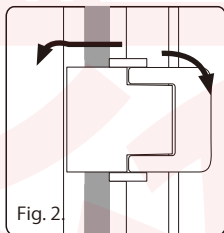
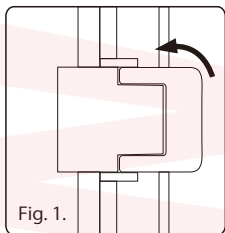
- ・モニターは、メニュー設定を変更したり写真を表示したりすることが可能な、SETUP モードでのみオンになります。
- ・写真を保存するために、SD または SDHC メモリーカードがメモリーカードスロットに挿入されている必要があります。
- ・Mini USB 端子 (USB 2.0) を使用し、カメラをコンピュータに接続します。
- ・モードスイッチにより、OFF、SETUP、ON の 3 つの動作モードを選択します。



6. カメラの準備

6.1. カメラの開閉

操作ボタン、接続部、およびバッテリーは、本体の内部にあります。

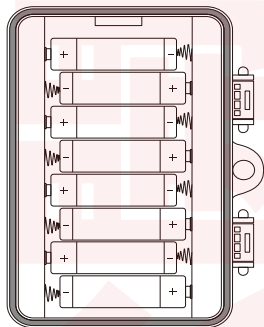
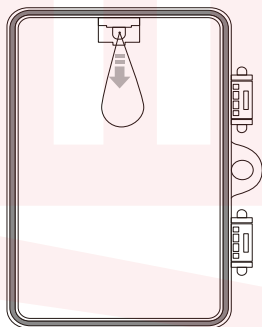


ロックブラケットのスナップ式の固定具により、本体を開閉します。

6.2. 電池を入れる

前記 6.1の説明に従い本体を開きます。電池は、本体右側の内部に収納されます。上部のフックを内側に引きながら、バッテリー室の保護カバーを開きます。

バッテリー室の電池をすべて取り外します。電池を8個下図のように挿入します。電池を挿入する際は、バッテリー室に記載されている極性マークで電池の正しい方向を確認してください。



Note:

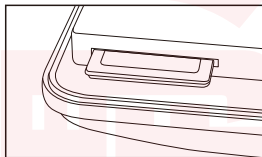
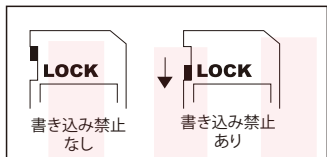
・カメラの正常な機能を確認するために、アルカリ単3電池8本の使用をお勧めします。

6.3. メモリーカードを入れる

写真やビデオを保存するには、メモリーカードが挿入されている必要があります。カメラの電源を入れる前に、SD/SDHC メモリーカードをメモリースロットに挿入します。

カメラの電源を切り、前記6.1で説明されているように開きます。

メモリーカードを挿入する前に、メモリーカードが書き込み禁止になっていないことを確認ください(下図参照)。



右図のように、メモリーカードを挿入します。カチッと所定の位置に収まるまで、メモリーカードをスロットに押し込みます。

メモリーカードを取り外すには、カードを押し込み部分的に排出させます。カメラに「カードがロックされています」と表示された場合は、メモリーカードを取り外し、書き込み禁止のスイッチを変更します。

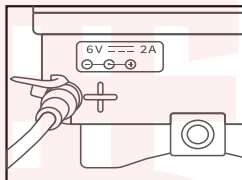


Note:

- 128GB までの SD/SDHC メモリーカードに対応しています。

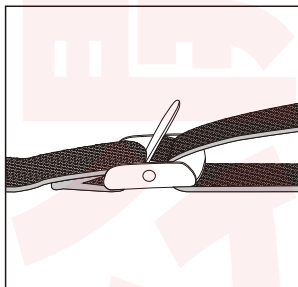
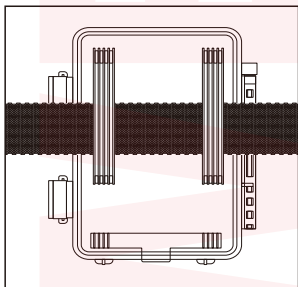
6.4. 外部電源

カメラは、外部電源からの電力を使用して動作させることもできます。外径 3.5 mm、内径 1.35 mm (内部プラス極、外部マイナス極) の端子を持つ2.0 A以上、6 Vの電源がアダプターが必要です(電源アダプターは付属していません)。



6.5. ストラップの取り付け

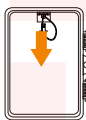
付属の固定ストラップを使用して、カメラを木やその他の物体に取り付けられます。固定ストラップの留め方を下記します。



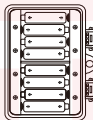
カメラを固定したい場所に置き、カメラがしっかりと固定されるまで、固定ストラップをしっかり締めます。固定ストラップを取り外すには、固定ストラップのタブを引き上げます。

6.6. 準備のフローチャート

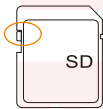
ロックブラケットとバッテリー室の保護カバーを開きます -> バッテリーを挿入します -> メモリーカードを挿入します -> SETUP に切り替えます -> MENU ボタンを押し、システム設定メニューを選びます -> デフォルト設定を選択します(出荷時の状態に戻す場合)



バッテリーカバーを開きます。



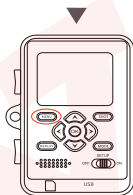
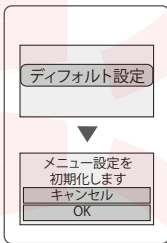
単三電池8本を入れます。



メモリーカードが書き込み禁止になっていないことを確認します。



CLASS6以上のSD/SDHCメモリーカードを入れます。モードスイッチをSETUPに切り替えます。



MENUボタンを押し、システム設定メニューを選びます。

7. カメラの使い方

カメラはご利用の目的に合わせて設定可能です。設定モードでは、設定を変更するだけでなく、写真やビデオを撮影したり、既存の写真を表示したりできます。

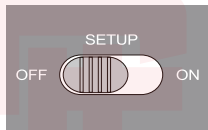
7.1. モードスイッチ

前記 6.1 で説明されているようにカメラを開きます。モードスイッチは、左側の下端にあります。3つの動作モードが選択できます。

OFF: カメラはこのモードで完全にオフになります。

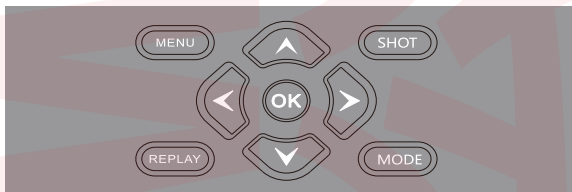
SETUP: このモードで各種設定や、写真やビデオを再生します。

ON: カメラがアクティブになり、自動的に写真が撮影されます (ライブモード)。







7.2. 操作ボタン

モードスイッチを SETUP に設定すると、カメラとモニターの電源がオンになります。パネル上にある下記の操作ボタンを使用し、さまざまな機能を有効にしたり、設定を変更したりします。







録画モード時のボタンの機能

各ボタンの機能を下記します(カメラがアクティブでない時)。

- **MENU** 設定メニューを開きます。
- **REPLAY** 再生モードに入ります。
- **MODE** 撮影モードを変更します。
- **SHOT** 写真撮影や、ビデオ録画の開始/停止します。
- **OK**     機能しません。





再生モード時のボタンの機能

各ボタンの機能を下記します(カメラがアクティブでない時)。

- **MENU** ビデオや写真ファイルを、削除や保護します。
- **REPLAY** 再生モードを、開始や終了します。
-  写真/ビデオを戻します。
-  写真/ビデオを進めます。
- **OK** ビデオの再生を開始/一時停止します。
- **MODE** **SHOT**   機能しません。

メニュー設定時のボタンの機能

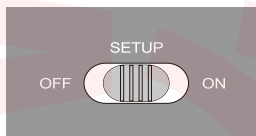
メニューを表示している時の時のボタンの機能です(録画および再生モード)。

- **MENU** メインメニューやサブメニューを閉じます。
-  メニューポイントを上に移動するか、値を増やします。
-  メニューポイントを下に移動するか、値を減らします。
-  次の設定に進みます。
-  前の設定に戻ります。
- **OK** 選択したオプション開くか、選択した設定を確認します。
このボタンを押さないと変更は設定されません。
- **REPLAY** **MODE** **SHOT** 機能しません。

7.3. 設定

カメラを使用する前に、必要に応じて設定を変更します。カメラのモードスイッチをSETUPの位置にスライドして、セットアップモードを開始します。

写真またはビデオモードで、MENUボタンを押してメニューを呼び出します。カメラのすべてのメニューオプションと、撮影モードで可能な設定を下記します。標準の設定を太字で表示します。





•モード：**写真/ビデオ/写真+ビデオ**

動きが検知されたときに、写真またはビデオを撮るかどうかを選択します。「写真+ビデオ」モードでは、ビデオを記録する前に、まず設定された枚数の写真を撮ります。

•PIRの間隔(待機時間)：(デフォルトは30秒です)

5秒から60分まで設定できます。動きが最初に検知された後、撮影を開始するまでの待機時間を設定します。設定した待機時間の間は写真やビデオを記録しません。不必要な画像が記録され、メモリーカードが一杯になるのを防ぎます。



Note:

• 待機時間が短い場合、カメラの撮影頻度は高くなり、バッテリーの消費量も多くなるため、バッテリーの持続時間に影響します。逆に、待機時間が長い場合は、バッテリーの消費量が少なくなり、バッテリーが長持ちします。

•PIR感度：高/**中**/低

•タイムラプス：**オフ**/オン

「オン」を選択すると、PIRセンサーが動きを検知したかどうかに関係なく、カメラは選択した時間間隔で自動的に写真を撮ります。これは、ヘビなどの変温動物や植物の観察に役立ちます。OKボタンを押し「オン」設定とすると、画像を撮影するまでの待機時間を入力できます。



Note:

• このモードでは、PIR機能は機能は停止し、設定された時間間隔で写真/ビデオを撮ります。

・IR LED : **オート**/節電/オフ
赤外線LEDの明るさを設定します。

・低電力夜間撮影 : **IRなし**/撮影中止
「IRなし」の場合は、夜間で電池が少ないとき(低電力)は、IRを使わずに撮影します。「撮影中止」の場合は、夜間/低電力のときには撮影しません。

・モニター期間 : **オフ**/オン
カメラを特定の時間内にものみ動作させたいとき、タイマーを「オン」に設定します。OKボタンを押し「オン」設定とすると、開始時刻と終了時刻を設定できます。たとえば、開始時刻を18:35、終了時刻が8:25に設定すると、カメラは当日の午後6:35から翌日の午前8:25まで動作します。この期間外では、写真やビデオを撮影しません。

・サイドPIR設定 : **オフ**/オン
2つのサイドPIRセンサーにより、検知角度が広がります。このセンサーのオン/オフを設定します。特定のポイントのみを観察したいときなどは、この設定をオフにすることで、撮影頻度が減り、バッテリーの消耗をおさえることができます。また、干渉する枝を取り除いたり、太陽光を避けたりすることが難しい状況などの際にも、この設定をオフにすることが良い場合があります。



・画素 : 24M/20M/16M/12M/8M/**5M**/3M/2M
写真の画像サイズ(解像度)を選択することができます。必要にして十分な解像度として、画素サイズ5Mをお勧めします。解像度を高くすると、写真の画質は良くなりますが、ファイルサイズが大きくなるため、メモリーカード上でより多くのスペースが必要になります。

・枚数：**1枚**/2枚/3枚/4枚/5枚/6枚/7枚/8枚/9枚/10P
写真モードで、連続して撮影する写真の数を選択します。撮影間隔の設定もご確認ください。

・シャッタースピード：1/15、1/20、**1/30**



・解像度：2.7K(2704x1520,30fps), 2K(2560x1440,30fps),
1080P(1920x1080, 30fps), 720P(1280x720, 30fps), 480P(848x480,
30fps), 360P(640x368, 30fps)

必要なビデオ解像度を選択します。解像度が高いほど、ビデオの画質は良くなりますが、ファイルサイズが大きくなるため、メモリカード上でより多くのスペースが必要になります。ビデオフォーマットは、多くのビデオ機器で再生可能なAVI形式で記録されます。

・ビデオの長さ：(デフォルトは**10秒**です)

5秒から180秒まで設定できます。ビデオ録画が自動的に開始されてからの録画の時間を設定します。(SETUPモードでは、ビデオの記録期間に制限はありません。)

・音声録音：オフ/**オン**



・言語：

メニューに表示する言語は日本語です。

・デフォルト設定：キャンセル/確認

工場出荷時の設定に戻します。「確認」を選択しOKボタンを押すと、メニュー設定を初期化します。

・フォーマット：キャンセル/確認
メモリーカードをフォーマットしてすべてのファイルを削除します。「確認」を選択しOKボタンを押すと、メモリーカードをフォーマットします。他のデバイスで使用したメモリーカードや、新しいメモリーカードの場合は、フォーマットすることをお勧めします。フォーマットする前に、必要なファイルをバックアップしてください。

・目付/時刻：
目付と時刻を設定します。

・時間形式：12H/24H
時刻の形式を設定します。

・日付スタンプ：オン/オフ
「オン」を選択すると、写真やビデオに日付、時刻、温度、電池量、月相をスタンプします。スタンプしない場合は「オフ」を選択します。

・ボタン音：オン/オフ

・カメラ名：1006T
アルファベットを数字を組み合わせるカメラ名を設定します。例えばカメラの設置場所をカメラ名とすることで、複数のカメラを使用する場合などに、場所を特定しやすくなります。

・パスワード設定：オフ/オン
「オン」を選択した後4桁のパスワードを入力します。パスワードによりカメラを不正アクセスから保護します。SETUPモードにカメラ電源スイッチを入れるたびにパスワードを入力する必要があります。



Note:

・パスワードを忘れた場合には、パスワード「OPEN」でカメラのロックを解除してください。

・オートパワーOFF：3分/15分/10分/オフ
設定した時間の間に操作がない場合、SETUPモードでカメラが自動的にオフになります。

・バックライト : オフ/**1分**/3分/5分
LCDモニターは、設定時間後に自動的にオフになります。

・バージョン :
ソフトウェアのバージョンを表示します。

・MCU更新
ファームウェアを更新するときに使用します。

○REPLAYモード時
MENUボタンを押すと、削除と保護のメニューを表示します。

・削除 : 「削除」を選択し、メモリーカードから個々のまたはすべての写真とビデオを削除します。新しい写真とビデオのための、メモリーカード内の保管スペースを増やすことができます。

・このファイルを削除する : 個々の写真やビデオを削除します。OKボタンを押してこれを選択します。「確認」を選択し、OKボタンを押します。「キャンセル」を選択すると、処理を中止します。

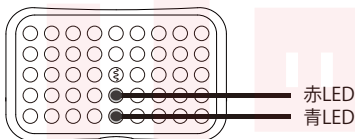
・すべて削除 : メモリーカード上のすべての写真とビデオを削除します。OKボタンを押してこれを選択します。「確認」を選択し、OKボタンを押します。「キャンセル」を選択すると、処理を中止します。

・保護 : 「保護」を選択し、メモリーカードから個々のまたはすべての写真とビデオを保護(ロック)します。メニューを選択し、メモリーカード内の写真やビデオのロック/解除を行います。

7.4. カメラの調整

テストモードは、動きセンサーの最適な検知角度と範囲を決定するのに使います。カメラを1-2mの高さで木などに取り付け、カメラを目的の方向に合わせます。観察領域の片側から反対側へ、ゆっくりと、カメラに対して平行に移動します。いろいろな角度と距離で試してください。

- カメラの前面にある青いLEDは、サイドセンサーゾーンによって検知されたことを示します。
- カメラの前面にある赤いLEDは、中央のセンサーゾーンによって検知されたことを示します。



このように調整して、カメラの最適な位置を決めます。SETUPモードでは、センサーの1つが動きを検知すると、すぐにLEDが点灯します。ライブモードでは、LEDは点灯しません。

無関係な信号による不要な撮影を防ぐため、カメラに強い光が当たる場所や、枝葉などで日の影が変化しやすい所は避けてください。最適な配置は北または南方向です。センサーの検知範囲は約120°です。カメラが観察するポイントに合わせて正しい高さに設定されていることを確認してください。必要に応じ、カメラを下に向けるなど、最適な位置に設定してください。

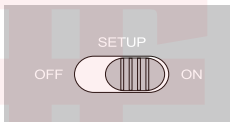


Note:

- カメラは、保護クラスIP66に対応しています。ほこりや水しぶきなどから保護します。

7.5. ライブモードの設定

カメラは普通このモードで使用します。このモードでは、写真は動きセンサーによってトリガーされるか、設定に応じた間隔でトリガーされます。ライブモードを設定するには、モードスイッチをオンの位置に切り替えます。赤色のステータスLEDが約5秒点滅します。5秒後、カメラは自動的に動作し、スタンバイモードに入ります。



動物やその他の物体が中央センサーゾーンの検知領域に入るとすぐに、カメラは写真やビデオの記録を開始します。動物がサイドセンサーの検知範囲に入ると、センサーは動きを検知し、カメラを起動します。動物が中央センサーゾーンの検知範囲にさらに移動するとすると、カメラは写真/ビデオの撮影を開始します。サイドセンサーによって動きが検知された後、5分間それ以上の動きが検知されない場合、カメラはスタンバイモードに戻ります。

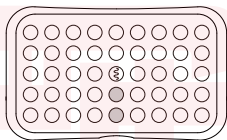
PIRセンサー(パッシブ赤外線センサー)の特徴

バッテリーを節約するために、赤外線カメラは、通常メインセンサーのみがアクティブなスタンバイモードになっています。中央のセンサーゾーンが動物を検知するとすぐに、カメラの電源が入り、写真の撮影が始まります。起動から撮影開始までの時間をトリガー時間と呼びます。ただし、動物がカメラをすばやく通過する場合、体の後部のみを表示するか、まったく表示しない可能性があります。このカメラは、側面のPIRセンサーゾーンの独自デザインにより、この問題を解決しています。2つの横方向センサーゾーンと中央センサーゾーンの組み合わせにより、個々のセンサーの角度をはるかに超える100°-120°の検知角度を作ります。動物が最初にサイドPIRセンサーゾーンの検知範囲を通過すると、カメラがアクティブになり、0.4秒後に撮影を開始する準備が整います。次に、動物が中央センサーの検知範囲にゆっくり入ると、カメラが撮影を開始し、動物の全身を記録します。このプロセスには約0.2秒かかります。動物がサイドセンサーゾーンの検知範囲内のみにとどまる場合、システムは、バッテリーの消費を防ぐため、下記の動作をします。

動物が中央センサーゾーンの検知範囲に入らず、センサーをトリガーしない場合、5分後にカメラはスタンバイに戻ります。トリガー事象がサイドセンサーゾーンの検知範囲内でのみ連続して2回発生する場合、カメラはサイドセンサーゾーンではなく中央のセンサーゾーンによってのみアクティブ化されます。その後、動物が最終的に中央センサーゾーンの検知範囲に入り、早く移動しない場合、おそらく動物の全身の写真(標準の反応時間1秒に基づく)が撮影されます。

7.6. 夜間撮影

夜間撮影では、カメラの前面にある赤外線LED(IR LED)が、撮影に必要な光を提供します。赤色光を最小限に抑えるために、長波長のIR LEDを使用しています。IR LEDは、高い偏向角度を生成するため、対象物を露出オーバーにすることなく、3mから15mの距離で夜間の記録が可能です。



ただし、反射する対象物(道路標識など)ではこの範囲内でも露出オーバーになる場合があります。IR LEDを使用した夜間撮影では、白黒画像になります。

7.7. ファイル形式

カメラは、写真とビデオをメモリーカードの「DCIM\MOVIE&PHOTO」フォルダに保存します。写真には拡張子「JPG」(例:IM_0001.JPG)のファイル名が付けられ、ビデオには拡張子「MP4」(例:VD_00002.MP4)が付けられます。セットアップおよびオフモードの場合、同梱のUSBケーブルを使用してファイルをコンピューターに転送します。または、コンピューターのカードリーダーにメモリーカードを挿入することも可能です。

ビデオファイルは、Windows Media Player、QuickTimeなど、多くの一般的なソフトウェアで再生できます。

8. コンピューターとの接続

カメラは、付属のUSBケーブルを使用してコンピューターに接続し、既存の写真/ビデオを表示します。

必要動作環境

Windows	Macintosh
<ul style="list-style-type: none">■ Pentium III 以上■ Windows XP 以上■ 512MB RAM以上■ 1GB以上のハードディスクの空容量■ 画面解像度1024x768以上■ USBポート	<ul style="list-style-type: none">■ PowerPC G3/G4/G5 以降■ OS 10.3.9 以上■ 512MB RAM以上■ 1GB以上のハードディスクの空容量■ 画面解像度1024x768以上■ USBポート

1. USBでカメラとコンピューターと接続します。

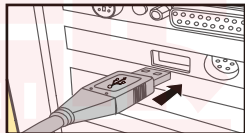
2. カメラは、モードスイッチでの選択に関係なく、USBモードで自動的にオンになります。

3. カメラがコンピューターにインストールされます。「リムーバブルストレージデバイス」という名前の追加ドライブが出てきます。

4. デバイスをダブルクリックすると「DCIM」フォルダが表示されます。

5. 写真とビデオは「DCIM」フォルダのサブフォルダにあります。

6. 写真やビデオファイルをコンピューターにコピーまたは移動できます。またはコンピューターのカードリーダーにメモリーカードを挿入し同様の操作をすることができます。



Note:

• Macコンピューターでは、デスクトップに「不明」ドライブが表示されます。ドライブをクリックすると、「iPhoto」プログラムが自動的に起動します。

9. 技術仕様

画像とビデオ

イメージセンサー	5Mピクセル、1/3インチ CMOS
写真の解像度	24M(6544 x 3680), 20M(5888 x 3312), 16M(5376 x 3024), 12M(4608 x 2592), 8M(3840 x 2160), 5M(2960 x 1664), 3M(2400 x 1344), 2M(1920 x 1088)
スクリーン	2.4" カラー TFT LCD; 320 x 240 ピクセル
レンズ	F=4.3; F/NO=2.0; FOV=80° ; 自動IRフィルター
トリガー時間	約0.4秒; プレブート0.2秒
ビデオの解像度	2.7K(2704x1520, 30fps), 2K(2560 x 1440, 30 fps), 1080P(1920 x 1080, 30 fps), 720P(1280 x 720, 30 fps), 480P(848 x 480, 30 fps), 360P(640 x 368,30fps)
有効範囲	昼間: 1m~; 夜間: 3m~15m
保存形式	写真: JPEG; ビデオ: MPEG - 4 (H.264)

トリガーアラーム

センサーの検出角度	センターセンサーゾーン: 60°; 両サイドサイドセンサーゾーン: 30°; 合計: 120°
トリガー距離	最大15m
PIR感度	高/中/低

夜間ビジョン

デイ/ナイトモード	昼夜 自動切り換え
IRカット	ビルトイン(照度によりカラー/白黒自動切換え)
IRライト	42個 940nm 赤外線 LED 範囲15m

オーディオ

マイク	48dB 高感度サウンドマイク
ブザー	2700Hz, 85dB

データストレージ

記録媒体	最大128GBのSD/SDHCのメモリーカード
------	-------------------------

電源と消費電力

電源	8x単三電池(AA) 外部6V電源(2A以上)
待機時間	約6ヶ月(バッテリー8本使用時)

その他

防水	IP66規格
接続	Mini USB 2.0
サイズ	約135(高)x103(幅)x75(奥行)mm



Note:

- 外観や仕様は予告なく変更する場合があります。

10. 簡単なトラブルシューティング

カメラがオンにならない	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーが適切に取り付けられているかを確認してください。• 電池が不足や消耗していないか確認してください。もしそうであれば、新しい電池と交換してください。
カメラが自動的にオフになる	<ul style="list-style-type: none">• 電池が不足や消耗していないか確認してください。もしそうであれば、新しい電池と交換してください。屋内で使用する場合はACアダプターを接続してください。
「SDカードエラー」と表示される	<ul style="list-style-type: none">• カード規格がクラス10以上であることを確認してください。• カメラでSDカードをフォーマットしてください。
コンピュータでビデオを再生すると、途切れたり、カクカクする	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの必要動作環境が満たされていることを確認してください。• コンピューターがMP4形式のビデオを再生できることを確認してください。
画像がはっきりしない	<ul style="list-style-type: none">• IR LEDとレンズの保護フィルムがはがされているかを確認してください。• レンズが汚れていないかを確認してください。
カメラが撮影しない	<ul style="list-style-type: none">• SDカードがいっぱいの場合は、ファイルをコンピューターに移動するか、ファイルを削除してください。• SDカードが正しくフォーマットされていない場合は、もう一度フォーマットするか、新しいカードを使用してください。
カメラをオフにできない	<ul style="list-style-type: none">• すべてのバッテリーを取り外し、カメラをリセットしてください。
パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none">• パスワード「OPEN」を入力してカメラのロックを解除してください。

11. システム情報、メンテナンス、廃棄

• MicrosoftおよびWindowsは、米国で登録されたMicrosoft Corporationの商標です。PentiumはIntel Corporationの登録商標です。MacintoshはApple Computer Inc.の商標です。SDは商標です。

11.1. ケアについて

カメラのハウジングや付属品の清掃には、変性アルコールやシンナーなどの腐食性クリーナーを使用しないでください。必要に応じて、柔らかい乾いた布で清掃してください。

11.2. 保管について

カメラをしばらく使用しない場合は、バッテリーをハウジングから取り外し、バッテリーを個別に保管してください。バッテリーは、子供の手の届かない、乾燥した場所に常に保管してください。

11.3. 廃棄

廃棄する場合は、梱包材を種類ごとに分けるなど、環境規制に従ってください。電池の捨て方はお住まいによって異なるため、自治体の指示に従ってください。また電池の種類によっては金属部分が他の電池や金属に触れるとショートして発熱、液もれ、発火などの事故につながる恐れがあります。電池ごとの捨て方を確認してください。

●故障かな？と思ったら●

お問い合わせ・修理をご希望をされる場合
support@thanko.jp に空メールをお送りください。
自動返信でご案内いたします。

※自動返信が来ない場合
送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよ
う設定の上送信してください。
QRコードを読み取り、空メールを送信できます。



不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送り
いただき、自動返信メール内容を確認の上ご送付ください。

チバケン ナラシノシ アカネハマ

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1

EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問合せメールアドレス :support@thanko.jp

保証期間：購入日より1年間

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。